

第三セクター等経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等と関係を有する地方公共団体が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和 6 年 4 月 8 日
作成担当部署 八幡平市商工観光課

2 第三セクター等の概要

法人名 株式会社地熱染色研究所
代表者名 代表取締役 高橋 誠行
所在地 岩手県八幡平市松尾寄木松川国有林559林班ヲ小班
設立年月日 平成元年
資本金 10,000千円【当該地方公共団体の出資額（出資割合）3,000千円（30.0%）】
業務内容 工芸品（地熱染色）の製造及び販売、染色体験教室、売店等

3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

当社は地方公共団体が特産品開発を手掛け、推進する過程で特産品開発を主な業務として、平成元年1月から第三セクター方式の法人を設立し本格的に地熱染色の商品化に努めた。しかし岩手山の火山活動などの風評被害で染色体験教室等の激減、百貨店での催事や県内の取扱店の減少により経営状況は次第に逼迫。近年は世界的に影響のあった新型コロナ感染の影響、世界的社会状況の変化等を要因とした物価の高騰、利用者の減少等、そこに約35年の設備の老朽化を修繕も必要とされ、資金繰りが困難となり、令和3年度に債務超過となった。令和4年度に再構築補助事業の展開も行き、経営改善に対応しながら努力を続けてきたが、日々物価高騰する材料費などが影響し、令和3年度に引続き、債務超過に至った。

4 抜本的な改革を含む経営健全化の取組に係る検討

地熱エネルギーにより発生する蒸気を基にした新たな特産品開発を実施し、併せて地熱染色体験教室という他自治体でも例を見ないサービスを提供してきた第三セクターであることから、これまでの実績を踏まえ、業績回復を図りより健全な経営に努めることとした。

5 抜本的な改革を含む経営健全化のための具体的な対応

当法人はこれまで、事業の要である工芸品（地熱染色）の製造及び販売事業の収益構造の改善と営業の強化を図り、経営改善に努め取り組んできた。今後の営業強化を図るため、従来の対面営業に加えて、電話・メール・ウェブ会議等のIT化・デジタル化を進めるなど、多様な状況に応じた対応ができる営業展開を行う。

また、原価低減等固定経費の徹底した削減を進め、損益と人員に見合った管理運営策を講じる。

市においては経営状況を確認しながら、可能な支援を継続していく。

（参考）

6 法人の財務状況

項目	金額(千円)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
資産総額	23,396	22,700	26,896
(うち現預金)	(110)	(624)	(905)
(うち売上債権)	(423)	(219)	(257)
(うち棚卸資産)	(6,868)	(5,624)	(5,513)
負債総額	21,902	23,085	29,920
(うち当該地方公共団体からの借入金)	(0)	(0)	(0)
純資産額	1,494	-385	-3,024

項目	金額(千円)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常収益	5,238	6,051	7,714
経常費用	6,447	6,261	5,159
経常損益	-1,209	-209	2,555
経常外損益	-4,033	-1,668	-5,194
当期純利益	-5,242	-1,806	-2,639